

バイオマス取組事例概要

《バイオマス活用協議会会長賞》

- ・応募主体 特定非営利活動法人 INE OASA (いーねおあさ)
- ・都道府県・市町村 広島県山県郡大朝町
- ・取組分野 菜の花プロジェクト

取組概要

菜の花プロジェクトの取り組み。廃食油を回収しバイオディーゼル燃料を精製。精製したバイオディーゼル燃料は町営バスや農業用機械に使用。

休耕田の”油田化”と地域資源循環リサイクルの構築を柱に、菜の花プロジェクトを推進している。

菜の花を4ha作付けし、菜種の収穫期には地域の小中学生の環境教育の一環として、刈り取り、搾油、調理実習にも取り組んでいる。

搾油油は食用油として町内家庭や学校給食で使用し、使用済みの廃食油は回収のうえバイオディーゼル燃料に精製する。



町内の各家庭、学校、事業所から集められる廃食油は1ヶ月あたり300～400㍑で、精製されたバイオディーゼル燃料は小学生を送り迎えるスクールバスに使用されている。スクールバスは巡回バスを兼ねており、1日3回町内を巡回している。バスの車体には「この車は廃食油リサイクル燃料で走っています」と表示しており、地域のバイオマス利活用の意識高揚を図っている。

